



令和5年度
事業報告

自 平成5年4月1日

至 令和6年3月31日

公益財団法人岩手県国際交流協会

I LOVE IWATE

岩手県国際交流協会

「令和5年度事業報告」目次

< 概要 >	1
< 事業活動 >	
1 地域に根ざした国際理解・交流の推進	3
2 多文化共生の地域づくり	9
3 次代を担う人づくり	25
< 管理部門 >	
1 評議員会・理事会等の開催状況	27
2 業務執行体制等	28
(1) 職員の状況	28
(2) コンプライアンス体制及び職員研修	28
(3) JICA国際協力推進員の配置	28
3 寄附金及び賛助会員の状況	28
(1) 寄附金の受入れ	28
(2) 賛助会員の入退会	28

令和5年度事業報告

<概要>

2023(令和5)年度は、令和元年度を初年度とする長期計画に基づき「地域に根ざした国際理解・交流の推進」、「多文化共生の地域づくり」及び「次代を担う人づくり」の3つの柱に沿って各種事業に取り組み、本県における国際交流・協力・多文化共生の推進に努めた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施されていた外国人新規入国制限の見直しを始めとする水際対策の段階的な緩和や5類移行により、本県の在留外国人数は令和5年12月末では過去最高の10,173人となるなど外国人が増加する中、各地域における国際化の推進や外国人受入体制の整備、外国人相談・情報提供等に取り組んだ。

「働く外国人支援プロジェクト、多文化共生地域づくりプロジェクト」では、引き続き「地域日本語教育推進事業」を実施し、外国人が自立した生活を送るために必要な日本語能力を身につけられるよう、外国人県民へ学習機会を提供するなど、県内の日本語教育体制の構築を図った。

また、災害時における多言語サポーター育成のための研修を実施するなど、外国人受入れの基盤となる体制の整備促進に努めた。

「グローバル人材育成プロジェクト」及び「外国人留学生等就職活動支援プロジェクト」では、大学生等の海外留学を支援するとともに、グローバルキャリアフェアの実施など外国人留学生等の高度人材の県内就職を支援するなど、人材の育成・定着に取り組んだ。

なお、各プロジェクト推進に係る会議、研修、セミナー等の実施に当たっては、必要に応じてオンラインでの参加を可能とした。

3つの柱と6つのプロジェクトにおける主な事業実施の概要は、次のとおりである。

1 「地域に根ざした国際理解・交流の推進」

<長期ビジョン関連プロジェクト>

○多文化共生の地域づくり〈ダイバーシティ〉プロジェクト

県の国際交流センターの管理運営を受託し、アイーナ入居団体や在住外国人等との連携による交流イベントの開催や展示コーナーを活用した様々なテーマでの企画展示など、センター利用者の拡大に努めた。

市町村、市町村国際交流協会及び国際交流関係団体との連携推進を図るため、地域国際化推進会議や国際交流関係団体連絡会議を開催するとともに、「いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンク」を通じた情報提供、地域国際化人材育成研修などを実施した。

国際交流関係団体等との共催事業では、ハロウィンターナショナルスクール安比ジャパンの協力により、同校のキャンパスツアーを実施した。

また、多言語のホームページや国際交流情報紙、SNSにより、イベントや生活情報、国際交流団体の活動情報等について発信した。

また、県内の国際交流団体が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動及び日本語教室の運営経費の一部を助成した。

2 多文化共生の地域づくり

〈長期ビジョン関連プロジェクト〉

○働く外国人支援プロジェクト

○多文化共生の地域づくり(ダイバーシティ)プロジェクト

外国人との交流会や「2023ワン・ワールド・フェスタinいわて」を開催し、在住外国人等と連携・協働により国際交流・国際協力、多文化共生について、広く県民に普及啓発を図った。

また、外国人の多様性についての認識を深め、外国人と共生するまちづくりを考える契機とするため、多文化共生地域づくりセミナーやワークショップを開催し、地域の国際化の推進に取り組んだ。

「いわて外国人県民相談・支援センター」の運営では、中国語、ベトナム語のほか英語、韓国語の専門相談員を配置し、在留資格などの行政手続や医療、福祉、家庭内の問題等幅広い相談に対応するとともに、県内企業等を訪問して外国人労働者等の状況や課題等についての聞き取り及び情報提供を行った。

また、電話通訳等による多言語相談サポート・支援や無料外国人医療相談会などの取り組みを行った。

なお、洋野町に避難していたウクライナ人家族は、令和5年5月に無事に帰国した。

在住外国人が自立した生活を送るために必要な日本語能力を身に付けられるよう、日本語教育の新たな担い手の掘り起こし、教育人材のスキルアップ、日本語教室空白地域における教室開設促進、オンラインによる日本語講座の実施による学習機会の提供等を行った。

また、岩手大・国際教養大・山形大の3大学と国際交流協会等による「なか東北連携による地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定」に基づき、地域日本語教育専門人材養成講座の実施を支援するとともに、講座修了者を日本語サポーター制度の「教師枠」として登録し、地域の企業等からの有償の依頼に対応する取り組みを行った。

災害時の外国人に対応した支援体制を構築するため、岩手県総合防災訓練へ参加するとともに、多言語支援を行うサポーターの育成研修や実践訓練等を行った。

3 次代を担う人づくり

〈長期ビジョン関連プロジェクト〉

○グローバル人材育成プロジェクト

○外国人留学生等就職活動支援プロジェクト

「いわてグローバル人材育成推進協議会」では、海外研修及び県内企業でのインターンシップの経験を活かして、地域に貢献する「グローバル人材」の育成に努めることとしており、海外派遣では、3人の学生の海外留学を支援した。

また、外国人青年や外国人留学生等のグローバル人材の県内企業への就職を支援するキャリアフェア、インターンシップ、企業訪問等を実施し、県内への就職・定着の支援に努めた。

＜事業活動＞

1 地域に根ざした国際理解・交流の推進

注)各施策の番号は“いわてビジョン2019”の施策番号に対応。

①施策1-1 地域国際化人材育成研修の実施（県補助）

地域の国際化、多文化共生を担う人材を育成するため、市町村及び市町村国際交流協会職員等を対象に、国際交流・多文化共生の現状と課題、外国人に関わる諸制度等、国際交流・多文化共生に係る基礎的知識について学ぶ研修会を開催した。

ア 第1回

日時・会場	令和5年5月17日(水)13:30～15:00・ZOOMウェビナー
プログラム	在留資格の基礎知識 及び 岩手県における外国人労働者の状況
講師	岩手県行政書士会 副会長 行政書士 横山 勝 氏
参加者数	26人

イ 第2回

日時・会場	令和5年 5月24日(水)15:15～16:45 アイーナ 会議室501 5月25日(木)15:15～16:45 奥州地区合同庁舎分庁舎大会議室 5月29日(水)15:15～16:45 久慈地区合同庁舎 大会議室 5月31日(木)15:15～16:45 釜石地区合同庁舎 大会議室
プログラム	外国人相談 ～情報提供と対応 事例を参考に～
講師	岩手県行政書士会 副会長 行政書士 横山 勝 氏 県国際交流協会 外国人相談・支援専門員 今野 香 〃 外国人相談専門員 陳 茜
参加者数	31人



第2回
外国人相談 ～情報提供と対応
事例を参考に～
横山行政書士による講話

②施策1-2 地域国際化推進会議の開催

県との共催により、市町村及び市町村国際交流協会が地域における多文化共生・国際化推進の観点から、課題の共有や連携を強化し、取組の活性化を図るための会議を開催した。

(実施状況)

盛岡広域振興圏	日時	令和5年5月24日(水)13:30~15:30
	場所	アイーナ 5階 会議室501
	参加者	5市町、5協会、1広域局 19人
県南広域振興圏	日時	令和5年5月25日(木)13:30~15:30
	場所	奥州地区合同庁舎 分庁舎 大会議室
	参加者	8市町、6協会、1広域局 27人
沿岸広域振興圏	日時	令和5年5月31日(水)13:30~15:30
	場所	釜石地区合同庁舎 大会議室
	参加者	7市町、4協会 20人
県北広域振興圏	日時	令和5年5月29日(月)13:30~15:30
	場所	久慈地区合同庁舎 大会議室
	参加者	8市町村、4協会、1広域局 24人



沿岸広域圏 会議の様子

③施策2-1(施策15) いわて国際化人材の登録・活用

在住外国人・日本人ともに、通訳・翻訳や文化紹介等多様な分野で対応できる方々を登録し、通訳や国際理解講座などの講師紹介依頼があった際に紹介を行った。

- ・登録者 個人284人、団体3団体、依頼件数66件、活用件数54件、キャンセル8件
(前年度 個人343人、団体3団体、依頼件数57件、活用件数49件、キャンセル2件)

④施策2-2 ホストファミリーの登録・活用

新型コロナウイルスの影響もあり、ホームステイ等の受入れはなかった。

- ・登録者84家庭、活用0件(前年度登録83家庭)

⑤施策3-1(施策13、14、16、22) 多言語ホームページによる情報提供

ホームページ、フェイスブック、X(旧ツイッター)を通じて日本語、英語及び中国語で各種情報提供を行った。

- ・ホームページの来訪者数 256,736件(前年度234,203件)
- ・ホームページ情報提供件数 120件(前年度361件)
- ・SNS、メーリングリスト情報提供件数 106件(前年度203件)

⑥施策 3-2 多言語の国際交流情報紙の発行

日本語、英語及び中国語の国際交流情報紙を年4回発行した。

- ・発行部数 2,500部/回 合計10,000部



発行	特集
2023/6 (夏号)	令和5年度岩手県国際交流協会の取組
2023/9 (秋号)	Come Join Us! 秋のイベントを楽しもう!
2023/12 (冬号)	「2023ワン・ワールド・フェスタinいわて」ご来場ありがとうございました!
2024/3 (春号)	1. 令和5年度岩手県国際交流協会主要事業の実施状況 2. イスラム教徒の皆さんと共に考える多文化共生

⑦施策 3-3 国際交流・協力・多文化共生に関する図書・情報の収集・提供

外国語も含めた蔵書やビデオ・DVDの教材等、国際交流関連の情報の収集・提供を行った。

- ・蔵書等のデータベース登録 6,801冊 (前年度7,025冊)
- ・資料収集国 190か国 (前年度190か国)
- ・国別ボックス 33箱/57か国 (前年度34箱/57か国)
- ・民族衣装 27か国/77セット (前年度26か国/78セット)

⑧施策 3-4 いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンクの運用

県内各地で国際交流・国際協力、多文化共生の効果的・効率的な取組を進めるための情報の共有や活用を図ることを目的として、リソースバンクを運用した。前年度の情報掲載以降の県内各市町村・市町村国際交流協会等の開催イベント、情報紙などの情報ファイルを追加掲載するとともに、外国人支援に役立つ情報を提供した。

- ・アクセス件数 13,650件 (前年度15,856件)
- ・掲載サイト <https://www.iwate-resource-bank.jp/>

⑨施策 4-1 国際交流センターの運営(県委託等)

岩手県から委託を受けて、国際交流センターにスタッフ5名を配置し、国際交流や多文化共生に係る情報提供、県民と外国人との交流を図る国際交流・国際協力活動等の拠点施設としてセンター利用者への対応等を行った。

なお、センター利用にあたっては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、マスク着用の徹底等の感染拡大防止対策を終了し、座席についてもアクリル板を撤去し、コロナ禍前の配置に戻した。

- ・来館者数 125,796人 (前年度 101,583人)

- ・ホームページアクセス件数 256,736件 (前年度 234,203件)
- ・情報提供件数 1,032件 (前年度 1,475件)

⑩施策４－２ 国際交流センター内の企画展示

展示コーナーを活用し、年間を通じて時宜をとらえた各種企画展示を行った。

	期 間	テーマ
1	常設展示（春・夏）	南米の魅力
2	常設展示（秋・冬）	アジアの魅力
3	5/1(月)～6/30(金)	フェアトレード展
4	7/10(月)～7/28(金)	中国雲南省と岩手県の繋がり展
5	8/7(月)～9/22(金)	ASEAN展（JICA東北と共催）
6	10/9(月)～10/20(金)	ワン・ワールド・フェスタの回想展
7	10/23(月)～11/10(金)	ワン・ワールド・フェスタ展
8	11/20(月)～1/19(金)	JICA海外協力隊活動紹介展（JICA東北と共催）
9	2/5(月)～4/19(金)	写真展「岩手の冬」

⑪施策５－１ 国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流関係団体の活動活発化に向けた意見交換、情報交換を行った。

- ・開催日 令和6年2月16日(金)
- ・会 場 アイーナ研修室812及びオンライン
- ・内 容 岩手県国際交流関係団体連絡会議規約の一部改正、令和6年度岩手県国際交流協会予定事業説明及び各団体の活動状況等に係る意見交換
- ・参加者 41団体50人（前年度37団体41人）



国際交流関係団体連絡会議登録団体数 116団体（前年度116団体）

分 野	団体数
国際理解	15
国際協力	8
日本語教室	6
青少年	13
学校・教育・文化・スポーツ	15
経済・観光	7
二カ国間交流	24
市町村・一般	28

⑫施策5-2 国際交流関係団体等の活動支援助成

県内の国際交流団体等及び市町村国際交流協会が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動や事業に要する経費の一部を助成した。

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
ア 国際交流団体等 ・助成数 2件、助成総額 136千円 (前年度 3件、助成総額 211千円)		
第31回外国人による日本語スピーチコンテスト	国際ゾンタ 盛岡ゾンタクラブ	70,000円 (241,121円)
多文化キッズキャンプ in 岩手2023	(特非) 岩手県国際教育支援協会	66,000円 (230,393円)
イ 市町村国際交流協会 ・助成数 5件、助成総額 433千円 (前年度 6件、助成総額 472千円)		
キッズワールドクラブ	(一財) 遠野市教育文化振興財団	100,000円 (260,456円)
やはば英語コミュニケーション教室	矢巾町国際交流協会	100,000円 (205,389円)
KIFA30周年アニバーサリーフェア	金ケ崎町国際交流協会	100,000円 (300,455円)
chat room	宮古市国際交流協会	63,000円 (117,147円)
日本文化体験「浴衣を着てみよう」	大船渡市国際交流協会	70,000円 (88,082円)
ウ 日本語教室 ・助成数 8件、助成総額 498千円 (前年度 5件、助成総額 304千円)		
日本語教室	金ケ崎町国際交流協会	48,000円 (60,000円)
岩手町国際交流協会日本語サロン	(特非) 岩手町国際交流協会	80,000円 (144,113円)
日本語指導に関する事業	(特非) 多文化共生 I can	80,000円 (100,090円)
「にほんご交流カフェ」事業	大船渡市国際交流協会	53,000円 (73,196円)
北上にほんご教室	(一社) 北上市国際交流協会	80,000円 (110,092円)
日本語教室「いっぽいっぽ」運営事業	日本語教室「いっぽいっぽ」	80,000円 (114,599円)
日本語教室 文化交流	在岩手県ベトナム人協会	66,000円 (112,381円)
いわて*多文化子どもの教室むつみっこくらぶ 日本語教室	いわて*多文化子どもの教室むつみっこくらぶ	11,000円 (14,240円)
エ 外国人県民等生活支援 ・助成数 1件、助成総額 80千円 (前年度 0件、助成総額 0千円)		
「やさしい日本語講座」開催事業	釜石市国際交流協会	80,000円 (104,609円)
【 計 】 ・助成数 16件、助成総額 1,147千円 (前年度 14件、助成総額 987千円)		

⑬施策 6 (施策29-2) 国際交流関係団体等との共催事業の実施

・ハロウィンターナショナルスクール安比ジャパン キャンパスツアー

第1回	日時	令和5年7月31日(月) 13:00~16:45
	参加者数	18人
第2回	日時	令和5年8月5日(土) 13:00~16:45
	参加者数	19人

2023/07/31 視察時



2 多文化共生の地域づくり

①施策 8-1 外国人との交流会の開催

県国際交流員や留学生、在住外国人等との協働企画により、定期的に外国人との交流会を開設し、参加者の拡大に努めた。また、協会のアウトリーチとして県内一町との連携により国際交流イベントを開催し、広く県内へ国際交流の機会を提供した。

- ・開催回 7回、参加者 延べ437人
(前年度 22回、参加者 825人)

《内訳》

外国人との交流会 開催回数 6回 参加者 延べ404人
体験型文化紹介（地域開催） 開催回数 1回
参加者 延べ33人



	開催日	タイトル	参加人数
1	令和5年5月21日（土）	アメリカの文化紹介～アリゾナ編～	27人
2	令和5年7月16日（日）	中国雲南省KIDs inいわて 2023	29人
3	令和5年7月30日（日）	クイズゲーム交流会in大槌町	33人
4	令和5年9月16日（土）	ハッピーチュソク！韓国の文化紹介	19人
5	令和5年10月9日（月）	みんなであそぼう ゴースポーツ！	293人
6	令和5年12月9日（土）	ちゃっとランド×留学体験座談会	12人
7	令和6年2月17日（土）	カナダの文化紹介～オンタリオ州編～	24人
	合 計		437人

②施策 8-2 「2023ワン・ワールド・フェスタ inいわて」の開催

海外在住を含む外国人と連携・協働して国際交流・国際協力、多文化共生について、広く県民に啓発普及を図る「2023ワン・ワールド・フェスタ inいわて」をアイーナ（盛岡市）で開催した。

- ・開催日 令和5年11月12日（日）
- ・会場 アイーナ4F県民プラザ、5F国際交流センター他
- ・参加 延べ3,550人（前年度3,905人）
- ・テーマ フェスタ完全復活！さあ、世界を遊びつくせ！
- ・プログラム
 - ファンゾーン（遊んで楽しめる体験ブース）
 - マルシェゾーン（世界の菓子等の試食試飲、フェアトレード商品販売）
 - カルチャーゾーン（文化紹介ステージ・クイズ、関係団体ブース）
 - ミッションラリー（会場内クイズラリー）



③施策9-1 多文化共生地域づくりセミナーの実施（県補助）

県民が外国人の多様性について認識を深め、外国人と共生するまちづくりについて考える契機とするためのセミナーを開催した。

- ・日時 令和5年7月22日（土） 14：00～15：30
- ・会場 マリオス18階 会議室183・184
- ・テーマ 「31言語通訳のアドバンテージ！
～病院や相談に使える電話通訳～」
- ・講師 メディフォン(株)通訳チームリーダー
岡本 亨 氏
- ・事例紹介 メディフォン(株)通訳スタッフ グエン ティ フーン 氏(ベトナム)
Naw Hpaw Hpaw 氏(ミャンマー)
シュレスト バンダナ 氏(ネパール)
- ・参加者数 26人(会場11人、オンライン15人)



④施策9-4 「身近な国際協力～フェアトレード～」の実施

- 内容 フェアトレード商品の試飲試食や販売を通じた国際協力への理解促進
- 日時 令和5年11月12日（日）（ワン・ワールド・フェスタと同時開催）
- 会場 アイーナ5階 国際交流センター内



⑤施策10 多文化共生地域づくりワークショップの実施（県補助）

県民が外国人の多様性についての認識を深め、外国人と共生する地域社会について考える契機とするため、地域の国際化や多文化共生などを切り口としたワークショップを開催し、そこで得られたアイデア等をまちづくりや地域の活性化の一助とすることを目的として開催した。

盛岡開催の様子



西和賀開催の様子



- 内 容：（報告）いわての地域日本語教育推進事業のこれまで
 （基調講演）「相互交流・相互理解をめざす地域日本語学習支援」
 （ポスターセッション）地域日本語教室の活動紹介
 事例発表団体／TVA日本語教室（盛岡市）
 日本語交流室「じょい」（盛岡市）
 二戸市日本語教室
 一関市国際交流協会
 NPO法人多文化共生 I can（一関市）
 日本語ボランティアグループ「ぼんご」（遠野市）
 にほんご交流カフェ（大船渡市）
 日本語教室「さくら」（宮古市）
 陸前高田市日本語教室
 （情報交換・交流会）参加者同士による情報交換・交流
 参加者数： 32人



ウ 日本語教室開設サポート

日本語教室空白地域における教室開設を促進するため、地域日本語教育コーディネーターの派遣等により日本語教室開設の走り出しを支援するためのサポートを実施した。

- 開設サポート団体： ・大船渡市国際交流協会、NPO法人おはなしころりん
 「にほんご交流カフェ」（継続）
 ・一関市国際交流協会（新規）
 ・紫波町国際交流協会（新規）

(ア) 「にほんご交流カフェ」への継続支援

i にほんご交流カフェ「サポーター研修会」

[岩手地域日本語教育コーディネーター派遣（主催：大船渡市国際交流協会）]

- 日 時： 令和5年10月29日（日）13：30～15：30
 会 場： おおふなぼーと 2階会議室（大船渡市）
 講 師： 岩手地域日本語教育コーディネーター 藤波 大吾 氏
 対 象： にほんご交流カフェサポーター
 内 容： 日本語会話教材の使い方
 参加者数： 12人

(イ) 一関市国際交流協会への開設支援

i 一関市国際交流協会「にほんご教室」新規開講ボランティア研修会

[岩手地域日本語教育コーディネーター派遣（主催：一関市国際交流協会）]

日 時： （第1回）令和5年7月9日（日）14：00～15：00
（第2回） 7月22日（土）10：00～15：00
（第3回） 7月29日（土）10：00～15：00

会 場： （第1回）おおふなぼーと（大船渡市）
（第2回・第3回）なのはなプラザ（一関市）

講 師： 岩手地域日本語教育コーディネーター 嶺岸 玲子 氏
〃 藤波 大吾 氏

対 象： 一関市国際交流協会「にほんご教室」で活動したい方、
外国人支援に興味のある方

内 容： （第1回）大船渡市国際交流協会「にほんご交流カフェ」の見学
日本語教室立ち上げに向けたワークショップ
（第2回）ボランティアとしての心構え、外国人とのコミュニケーションについて
（第3回）対話中心の活動について

参加者数： 24人



ii 一関市国際交流協会「にほんご教室」ボランティアフォローアップ研修

[岩手地域日本語教育コーディネーター派遣（主催：一関市国際交流協会）]

日 時： 令和5年12月16日（土）12：30～16：00

会 場： なのはなプラザ（一関市）

講 師： 岩手地域日本語教育コーディネーター 藤波 大吾 氏

対 象： 一関市国際交流協会日本語支援ボランティア

内 容： 日本語会話教材の使い方

参加者数： 6人

(ウ) 紫波町国際交流協会への開設支援

i 日本語交流会

[岩手地域日本語教育コーディネーター派遣（主催：紫波町国際交流協会）]

日 時： 令和5年11月19日（日）13：30～15：00

会 場： 紫波町情報交流館

講 師： 岩手地域日本語教育コーディネーター 藤波 大吾 氏

対 象： 紫波町国際交流協会役員及び会員

内 容： 紫波町在住外国人との日本語交流活動

参加者数： 11人（在住外国人含む）

ii 日本語教室立上げに向けたワークショップ

〔岩手地域日本語教育コーディネーター派遣（主催：紫波町国際交流協会）〕

日 時： 令和6年3月2日（土）13：30～15：30

会 場： 紫波町観光協会事務所

講 師： 岩手地域日本語教育コーディネーター 藤波 大吾 氏

対 象： 紫波町国際交流協会役員及び日本語サポーター希望者

内 容： 日本語教室の方向性についての検討

教室開設のための必要事項の検討

参加者数： 7人

エ オンライン日本語学習講座【オンライン】

居住地域に日本語学習の環境がない外国人県民、より多くの学習機会を求める外国人県民へ学習機会を提供するため、オンラインでの学習講座を開催した。

開催日時・開催回数：

（ひらがな・カタカナコース）

令和5年6月7日（水）～6月28日（水）、毎週水曜日、19：00～20：30、全4回

（前期コース）

令和5年7月5日（水）～10月4日（水）、毎週水曜日（8/16を除く）、19：00～20：30、全13回

（後期コース）

令和5年11月15日（水）～令和6年2月21日（水）、毎週水曜日（12/27、1/3を除く）、19：00～20：30、全13回

方 法： オンライン形式（Zoom）

内 容： 地域の日本語教室や日本語学習支援者との学習機会等での活動につなげられるまでの、生活に必要な最低限の会話のための基礎的な学習項目（「日本語教育の参照枠」A1レベル）の習得

参加者数： （ひらがな・カタカナコース）3人

（前期コース）18人

（後期コース）20人



オ 事業者向け啓発活動

外国人を雇用する又はこれから雇用したいとする事業者に対して、日本語教育の実施や配慮についての啓発、利用可能な制度や日本語学習支援の優良事例の紹介等、事業者における日本語教育の取組を促進する啓発活動を実施した。

(ア) 企業、監理団体への訪問・情報提供

情報提供件数：11件

(イ) 外部団体セミナーとの連携

i 「外国人と企業とのワークショップ」

主催者：いわてグローバル人材育成推進協議会

日時：令和5年9月11日（月）14：00～16：00

場所：いわて県民情報交流センター（アイーナ）8階 会議室804A

参加者数：30人（うち、企業等13人）

ii 株式会社ビルド遠藤（葛巻町）社内研修

主催者：株式会社ビルド遠藤

日時：令和5年10月14日（土）13：00～14：30

場所：葛巻町茶屋場自治会館

参加者数：38人

iii 「外国人材セミナー」

主催者：岩手県中小企業団体中央会

日時：令和5年12月11日（月）13：30～15：00

場所：アートホテル盛岡

参加者数：約20人

iv 「令和5年度外国人雇用に関する事業主説明会」

主催者：岩手労働局・盛岡公共職業安定所

日時：令和6年1月19日（金）14：00～15：40

場所：盛岡公共職業安定所

参加者数：34人

カ 多文化共生セミナー

外国人県民を受入れる側における多文化共生理念の普及を目的として、「やさしい日本語」など多文化共生に関する事項をテーマとしたセミナーを開催した。

(ア) 「やさしい日本語」セミナー ―多文化共生のまちづくりに向けて―（遠野市）

日時：令和5年10月14日（土）14：00～16：00

会場：あえりあ遠野 中ホール

講師：岩手大学副学長兼国際教育センター長 松岡 洋子 氏

対象：一般県民等

内容：「やさしい日本語」の意義や基本的な知識に関する講義及び「やさしい日本語」を使用する演習等

参加者数：17人

(イ) 「やさしい日本語」市民ワークショップ（一関市）

[岩手地域日本語教育コーディネーター派遣（主催：一関市）]

日時：令和5年9月10日（日）13：30～15：30

会場：川崎市民センター（一関市）

講師： 岩手地域日本語教育コーディネーター 嶺岸 玲子 氏
 対象： 一般県民等
 内容： 意義や基本的な知識に関する講義及び「やさしい日本語」を使用する演習等

参加者数： 13人

キ 日本語教育に関する相談対応

日本語教室における実態や課題把握、課題解決のため、岩手地域日本語教育コーディネーター等が県内の日本語教室を巡回訪問し、状況や課題等について聞き取り及び情報提供等を行った。

巡回訪問・相談対応件数： 34件

⑦施策12(施策20) 日本語サポーターの登録・育成と活用

ア 日本語サポーターの登録と活用

日本語サポーターの登録と活用により、在住外国人のニーズに対応した日本語学習を支援した。

- ・登録者 125人（前年度109人）、うち有資格者等登録者18人
- ・活用 ○個人依頼件数37件、成立37件
 （前年度：依頼件数50件、成立44件）
 ○企業・団体依頼件数0件

イ なか東北連携地域日本語教育人材育成

岩手大・国際教養大・山形大の3大学と国際交流協会等による「なか東北連携による地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定」に基づき、「地域日本語教育専門人材養成講座」の実施を支援した。また、地域の企業や団体からの有償の日本語指導の依頼に対応できるよう、講座修了者を日本語サポーター制度の「日本語教師枠」に登録した。

- ・令和5年度講座修了生：9人

⑧施策17 いわて外国人県民相談・支援センターの運営(県委託)

在住外国人が安心して生活できるよう、在留資格などの行政手続、日本語学習・医療・福祉・子育て・家庭内の問題等に関することなど、幅広い相談に対応するため、外国人相談窓口を設置し外国人相談専門員を配置するとともに、関係機関とのネットワーク形成を図る連絡会議等を開催した。

ア 相談窓口の設置

相談窓口において生活上の問題をはじめとした幅広い相談へ対応した。

- ・相談件数 599件（前年度 669件）（相談専門員による相談、地域巡回相談、外国人専門相談員における相談件数を含む。）

（相談内容の内訳）

年度	日本語学習	住居	教育	医療・保健・福祉	行政手続	その他	合計
令和5年度	38	9	17	67	177	291	599
令和4年度	50	1	5	97	138	378	669
令和3年度	30	6	15	106	115	274	546

⑩施策19 外国人定期相談日

岩手県行政書士会及び岩手弁護士会と連携し、無料相談日を開設した。

ア 岩手県行政書士会と連携した相談日

開設数 24回 相談件数 32件（前年度24回 28件）

イ 岩手弁護士会と連携した相談日

開設数 3回 相談件数 4件（前年度 4回 6件）

⑪施策21 外国人患者受入体制構築事業（県補助）

在住外国人が抱える健康面での不安や悩みの解決に向けて、医療機関等と連携を取りながら医療相談会を開催し、在住外国人の抱える医療面での不安の解消に取り組んだ。

- ・名称 2023外国人医療相談会
- ・協働 Espeyulo、岩手県民主医療機関連合会
- ・協賛 盛岡医療生活協同組合 川久保病院
- ・開催日 令和5年11月25日(土)
- ・対応言語 中国語、ベトナム語、英語及び日本語
- ・内容 健康診断、栄養相談、生活相談
- ・受診者数 29人(中国14人、ベトナム2人、
フィリピン10人、ネパール3人)
- ・申込者数 40人
- ・対応人員 47人(川久保病院等関係38人、
通訳7人、当協会4人)



⑫施策23 いわて災害時外国人支援体制の構築（県委託）

災害時における外国人に対応した支援体制を構築するため、災害時の外国人対応等についての研修会、実践訓練等を実施した。

ア 災害時多言語支援窓口の設置・運営

(ア) 災害時多言語サポーター実践訓練（全県対象）

日 時： 令和5年10月15日(日) 14:30～15:30

会 場： アイーナ 会議室501

内 容： 災害時多言語サポーター等と連携して、外国人観光客のサポートを想定した対応訓練を実施した。

参加者： 一般12人（その他、外国人協力者 8人）

(イ) 災害時多言語サポーター実践訓練（モデル地区／盛岡）

※盛岡国際交流協会との共催実施

日 時： 令和6年2月9日(金) 14:30～15:30

会 場： 盛岡市上田公民館

内 容： 盛岡国際交流協会との共催により、盛岡市危機管理課及び外国人指定避難所である上田公民館の協力を得て、避難所を想定した外国人からの相談・問い合わせ対応訓練を実施した。

参加者： 一般 15人（その他、外国人協力者7人、盛岡市・市協会等9人）



(ウ) 災害時多言語支援窓口設置運営局内訓練

日 時： 令和6年1月18日(木) 14:00~16:00

場 所： 国際交流センター内

参加者： 16人(協会12人、県国際室4人)

内 容： 災害時多言語支援窓口運営にかかる業務対応訓練

イ 県が実施する防災訓練への参加

(7) 令和5年度岩手県総合防災訓練

i 救出救助訓練

日 時： 令和5年7月29日(土) 午前

場 所： 滝沢第二中学校

参加者： 外国人協力者5人(同行者1人)

訓練内容： 外国人負傷者役として、消防等の救出救助における外国語対応の訓練に協力した。

ii 広域避難訓練における外国人対応

日 時： 令和5年7月29日(土) 午前

場 所： 八幡平市及び盛岡市渋民公民館

参加者： 外国人協力者5人(同行者2人及び県国際室1人)

訓練内容： 八幡平市から盛岡市への広域避難及び盛岡市渋民公民館での避難所受付・避難所対応にかかる訓練に参加した。

iii 災害時多言語支援窓口との連携訓練

日 時： 令和5年7月29日(土) 午前

場 所： アイーナ国際交流センター

参加者： 相談支援センター担当及び相談員等4人

訓練内容： 八幡平市及び盛岡市(渋民公民館)での外国人対応における遠隔での多言語支援及び相談支援を行った。

ウ 災害時多言語サポーターの登録拡充、育成

令和5年度末登録状況	人数	増減
いわて災害時多言語サポーター登録者	36人	+2
令和5年度新規認定者	8人	+8
令和5年度更新者(更新対象者15人)	9人	-6

(7) 災害時多言語サポート研修会(基礎編)

日時	実施方法/会場	参加者数
令和5年7月17日(月・祝日) 10:00~12:30	オンライン	20人
令和6年1月21日(日) 10:00~12:30	盛岡市上田公民館	20人

内 容 :

基礎研修①「災害対応」

講師 岩手大学地域防災研究センター客員教授／防災危機管理アドバイザー
一 越野 修三氏

基礎研修②「災害時の外国人とのコミュニケーション」

講師 岩手大学国際教育センター 教授 松岡 洋子氏

(イ) 応用研修会

日時	実施方法／会場	参加者数
令和5年10月15日(日) 13:00~14:20	アイーナ会議室501	12人
令和6年2月9日(金) 13:00~14:20	盛岡市上田公民館	14人

エ 語学研修会の開催

(ア) 災害時多言語サポート英語講座

日時	実施方法／会場	参加者数
令和5年10月15日(日) 15:40~16:30	アイーナ会議室501	10人
令和6年2月9日(金) 15:40~16:30	盛岡市上田公民館 第一集会室	11人
令和6年2月17日(土) 10:00~12:00	オンライン	16人

- ・ 委託先： 合同会社ポリグット J P
- ・ 講師： クウィンラン フェリス氏

(イ) 災害時多言語サポート中国語講座

日時	実施方法／会場	参加者数
令和5年10月15日(日) 15:40~16:30	アイーナ5階 語学学習コーナー	1人

- ・ 講師： 外国人相談専門員（中国語） 陳 茜 氏

オ 市町村等の取組への支援に関すること

(ア) 市町村等の取組への支援

- ・ 一関市 「やさしい日本語職員研修会」

日 時： 令和5年6月9日(金) 13:30~15:30

会 場： 一関市役所 本庁2階大会議室A、オンライン

参加者： 28人（会場15人、オンライン13人）

講 師： 岩手大学国際教育センター教授 松岡 洋子 氏

(イ) 外国人対象事業

i 大船渡 にほんご交流カフェ 防災講座

日 時： 令和5年12月10日(日) 10:00~12:00

場 所： 大船渡市防災観光交流センター おおふなぼーと

参加者： 28人（うち外国人15人）

内 容： 防災に関わる外国人サポート及び外国語の情報等についての講座

ii 多文化防災ワークショップ

日 時： 令和6年2月25日(日) 14:00~16:30（うち第1部）

場 所： 盛岡マスコ

参加者：約40人（うち一般13人、外国人参加者 約27人）

内容：外国人にも知ってもらいたい防災の基本



⑬施策25 外国人労働者受入体制推進事業

外国人労働者の増加を踏まえ、外国人労働者や受入企業等が抱えるニーズや課題の解決に向けた取組を進めるため、市町村国際交流協会等と連携して地域住民に対する外国人労働者の受け入れ理解の促進を図る機会等を創出した。

ア 地域との交流機会の創出

市町村や市町村国際交流協会等との連携により、外国人労働者と地域住民との交流機会を創出し、相互理解を進めることで、外国人労働者が地域で活躍できる地域づくりを進めた。

① 二戸市開催

協働 二戸市国際交流協会

日時 令和5年7月9日(日) 9:00～13:00

会場 金田一コミュニティセンター

参加 実習生9人(中国、ベトナム、ミャンマー)、ALT 1人、日本語サポーター等18人

内容 ベトナム料理づくりを通じて交流を図った。



協働 二戸市国際交流協会

日時 令和5年9月24日(日) 9:00～13:00

会場 権七園、みるみるハウス(軽米町)

参加 実習生21人(中国、ベトナム、ミャンマー)、ALT 1人、日本語サポーター等11人

内容 リンゴ狩り体験を通じて交流を図った。



② 矢巾町開催

協働 矢巾町国際交流協会

日時 令和5年9月23日(土) 9:00~16:00

会場 ジャンパランド、県立防災センター、高館農園など(矢巾町内)

参加 実習生5人(ベトナム)、矢巾町国際交流協会ボランティア等7人

内容 町内施設でのスポーツ体験、防災学習、農業体験など町内巡りを通じて交流を図った。



③ 釜石市開催

協働 釜石日本語教室 桜会

日時 令和5年10月8日(日) 10:00~11:30

会場 青葉ビル研修室

参加 実習生24人(ベトナム、インドネシア)、日本語ボランティア等4人

内容 おりがみ体験を通じて交流を図るとともに、各国の文化について知る機会とした。



④ 紫波町開催

協働 紫波町国際交流協会

日時 令和5年11月19日(日) 9:00~15:00

会場 長岡果樹生産組合、紫波フルーツパーク、オガールなど

参加 実習生7人(ベトナム、フィリピン、インドネシア)、町国際交流協会会員等7人

内容 リンゴ狩り体験やピザ作り体験と日本語学習を通じて交流を図った。



⑤ 大槌町開催

協働 大槌町役場

日時 令和5年12月10日(日) 13:00~16:00

会場 大槌町文化交流センター多目的ホール、小槌神社

参加 実習生16人(ベトナム、インドネシア)、外国人研究員1人(フィリピン)、
受入れ企業担当・町民など30人

内容 モルック交流会、子どもオーケストラ演奏、郷土料理の試食体験などを
通じて交流を図った。



⑥ 一関市開催

協働 一関市国際交流協会

日時 令和5年12月17日(日) 10:00~15:00

会場 一関市川崎市民センター

参加 実習生21人(フィリピン)、フィリピン人・中国人配偶者6人、市国際交
流協会会員等34人

内容 中国・ベトナム・フィリピンの国紹介、お国自慢料理交流、フィリピン
ダンスなどを通じて交流を行った。



協働 一関市国際交流協会

日時 令和6年1月28日(日) 10:00~11:30

会場 なのはなプラザ にぎわい創造センター

参加 実習生等23人(インドネシア、インド、モンゴル、ベトナム)、フィリ
ピン人等在住外国人7人、市国際交流協会会員等17人

内容 日本文化体験「日本のお正月を楽しもう!」として書道体験や餅つき体
験などを通じて交流を行った。



3 次代を担う人づくり

①施策29-2 職業体験の受入れの実施

県内学校等の依頼に応じ、小学生から大学生までの学生のインターンシップ・プログラムの受入れを行った。

- ・受入実績 5校、49人（前年度12校1団体、51人）

依頼先	内容	受入期間	人数
岩手県立気仙光陵支援学校	センター紹介	令和5年7月13日	16人
盛岡医療福祉専門学校	センター紹介	令和5年9月25日	9人
盛岡市立下小路中学校	センター紹介	令和5年10月18、19日	10人
岩手県立雫石高校	センター紹介	令和5年11月14日	3人
盛岡大学	センター紹介	令和6年1月12日	11人

②施策30 「いわてグローバル人材育成推進協議会」事業の運営（県委託）

ア 「いわて協創グローバル人材育成プログラム」の実施

地域に貢献するグローバル人材を育成するため、県内大学生等の海外留学を支援した。

派遣学生数：3人（上期2人、下期1人）：応募者5人

派遣国：フランス、カナダ、アメリカ

イ グローバルキャリアフェア及び外国人を対象としたインターンシップの実施

外国人青年や留学生等のグローバル人材の県内企業への就職を支援するため、キャリアフェア及びインターンシップを実施した。

(ア) グローバルキャリアフェアin岩手 事前オリエンテーション

実施日：令和5年11月3日（金・祝）9：30～11：30

会場：いわて県民情報交流センター（アイーナ）会議室501

参加人数：13人（外国人 12人、社会人等 1人）

(イ) グローバルキャリアフェアin岩手

実施日：令和5年11月18日（土）13：00～16：00

会場：ツガワ未来館アピオ 岩手産業文化センター

参加企業：80企業・団体

参加者数：9か国・地域 11人（留学生 8人、社会人等 3人）

※（公財）ふるさといわて定住財団との共催で実施

ウ 外国人留学生等を対象としたインターンシップ事業の実施

受入協力企業 2社

応募者数 1人

実施実績 0件 ※応募者直前キャンセルのため

エ 外国人や海外経験を有する日本人学生等と企業とのワークショップ等の開催

(ア) ワークショップ「コミュニケーションから外国人雇用の理解を深める」の実施

実施日：令和5年9月11日（月）13：30～16：00

会場：いわて県民情報交流センター（アイーナ）会議室804A

講師・ファシリテーター：内定ブリッジ株式会社 代表取締役 浅海 一郎氏

事例紹介： みちのくココ・コーラボトリング株式会社新規事業推進室課長兼
エグゼクティブアシスタント兼株式会社KOP取締役 William
Brannen氏

参加者数：42人（外国人材 19人、企業等 23人）

オ 外国留学生等を対象とした県内企業訪問

実施日：令和5年9月12日(火)

訪問先：株式会社南部美人、北のチョコレート工場 2 door（二戸市）

参加者数：12人（留学生 8人、社会人等 4人）



③施策31-1 私費外国人留学生支援奨学金支給（県補助）

私費外国人留学生に月額2万円の奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、当協会の活動をはじめ、県内各地で行われた国際交流活動や県内就職に関するフォーラム等に積極的に参画した。

・受給者 9人、国際交流等活動実績 延べ 112件

〔内訳〕岩手大学大学院生4人、岩手大学学部生2人、富士大学学部生3人
（前年度 10人、国際交流等活動実績 延べ 137件）

④施策32 海外研修員等のサポート（県委託）

岩手県委託事業として、岩手県が受け入れる海外自治体職員研修員及び海外技術研修員の生活上のサポートを行った。

ア 海外自治体職員研修員

氏名	派遣元	期間	研修先
王 曉晗	大連市	令和5年5月～令和6年3月(4月帰国)	県庁商工労働観光部 産業経済交流課

イ 海外技術研修員

氏名	推薦団体	期間	研修先
松浦 豊	パラグアイ・ピラポ 岩手県人会	令和5年5月～11月	岩館電気株式会社



＜管理部門＞

1 評議員会・理事会等の開催状況

理事会、評議員会、評議員選定委員会等の開催状況は、次のとおりである。

開催日	会議名	会議の概要
令和5年 4月1日(土)	第47回理事会	決議事項 1 理事長の選任及び報酬月額の設定について
4月19日(水)	令和5年度 第1回評議員選 定委員会	決議事項(書面表決) 1 評議員の選任について
6月9日(金)	第48回理事会	決議事項 1 令和4年度事業報告及び附属明細書の承認について 2 令和4年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計 算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認について 3 定時評議員会の招集について
6月27日(火)	令和5年度 第2回評議員選 定委員会	決議事項 1 評議員の選任について
6月30日(金)	第18回評議員会	決議事項 1 令和4年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減 計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認につい て 2 理事及び監事の選任について
6月30日(金)	第49回理事会	決議事項 1 理事長の選任及び報酬月額の設定について 2 常務理事の選任及び報酬月額の設定並びに事務局長 事務取扱の任命の承認について 3 評議員選定委員会外部委員の選任について
11月21日(火)	第50回理事会	決議事項 1 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法 律第13条第1項に掲げる変更の届出について
11月21日(火)	理事・監事・評 議員意見交換会	意見交換事項 1 いわてビジョン2019に掲げる施策の実施状況(令和 5年度)について 2 地域日本語教育推進事業について
12月7日(木)	令和5年度 第3回評議員選 定委員会	決議事項(書面表決) 1 評議員の選任について
令和6年 3月22日(金)	第51回理事会	決議事項 1 令和6年度事業計画書及び収支予算書の作成につい て 2 県出資等法人に係る中期経営計画書(令和5年度～ 令和8年度)の時点修正について 3 公益財団法人岩手県国際交流協会就業規則の一部改 正について 4 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 5 再雇用に関する規程の一部改正について 6 職員の役職定年に関する規程の制定について 7 臨時評議員会の招集について

2 業務執行体制等

(1) 職員の状況

令和5年度末の事務局職員数は、常勤職員10名、非常勤相談員5名（委嘱を含む。）、非常勤補助員7名（委嘱を含む。）である（事務局長事務取扱役員を除く）。

(2) コンプライアンス体制及び職員研修

理事長及び常務理事からの訓示のほかコンプライアンス違反行為等を発見した際の報告先を周知するなど、コンプライアンスを最優先し業務を遂行した。

また、令和6年3月に外部委員1名を加えた「コンプライアンス委員会」を開催し、令和5年度における問題事案の発生はなかった旨を確認するとともに、結果を理事会に報告した。

職員研修については、文化庁や自治体国際化協会等の外部研修に参加した。

(3) JICA国際協力推進員の配置

当協会とJICA（独立行政法人国際協力機構）が連携して県民の国際協力活動を促進するため、JICA東北支部との協定により、令和5年度も協会内にJICAデスクを設置し、国際協力推進員を継続配置した。

3 寄附金及び賛助会員の状況

寄附金及び賛助会員の状況は、次のとおりである。

(1) 寄附金の受入れ

次の28件 2,070,000円の寄附金を受け入れた。

① 一般寄附金

1件 100,000円

② 協賛寄附金

27件 1,970,000円

(2) 賛助会員の入退会

賛助会員の新規入会を促進するため、令和5年4～6月及び10～11月に加入促進キャンペーンを行ったほか、年間を通じて、イベント開催時に賛助会員入会の呼びかけ等を行った。この結果、令和5年度の新規入会は8件となった。

なお、10月～11月のキャンペーンで学生の入会特典を設定するなど若年層の入会に取り組んだ結果、新規入会数の内、学生会員が半数を超えた。

（令和5年度中の入退会の状況）

	令和5年 3月末	入 会	退 会		令和6年 3月末	増 減
			退会届	職権退会		
個人会員	228	3	6	0	225	△3
学生会員	16	5	0	0	21	5
団体会員	49	0	0	0	49	0
合 計	293	8	6	0	295	2

令和5年度事業報告についての附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年5月

公益財団法人岩手県国際交流協会